

Cisco Jabber : 必須のサーバ証明書検証に関するテクニカルノート

内容

[概要](#)

[オンプレミスサーバ](#)

[Jabberクライアント](#)

[クラウドサービス](#)

概要

Cisco Jabberクライアントは、シスコのコラボレーションソリューションソリューションのセキュリティ環境を強化し、クライアントとサーバ間のセキュアな接続を確立するために、すぐにデフォルトですべてのサーバ証明書の必須検証を行います。

オンプレミスサーバ

Jabberは、次のオンプレミスサーバに対する証明書の検証を開始します。

- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)
- CUCM Instant Messaging and Presence(IM/P)(Cisco Unified Presence Server(CUPS))
- Cisco Unity Connection
- Cisco Webex ミーティング サーバ

注意 : このドキュメントに記載されているJabberリリースを導入する前に、有効なサーバ証明書を使用して関連するCisco Collaborationサーバを設定してください。

各サーバは、セキュア接続のタイプごとに証明書を提示します。サーバ証明書が信頼できる

自己署名証明書の場合は、認証局(CA)をクライアントOS証明書ストアにロードする必要があります。それ以外の場合、Jabberユーザは最初に接続するときに、個々のサーバ証明書を受け入れるか拒否するかを尋ねられます。

この変更に合わせてサーバ証明書をセットアップする方法を判別するには、ご使用のリリースのサーバ管理ドキュメントを参照してください。

Jabberクライアント

この変更の導入予定日は次のとおりです。

デスクトップ クライアント	日付
Jabber Mac 9.2	2013年9月
Jabber Windows 9.2.5	2013年9月

モバイル クライアントとタブレット クライアント	日付
Jabber for iPhone 9.5	2013年10月
Jabber for iPhone and iPad 9.6	2013年11月
Jabber for Android 9.6	2013年12月

クラウドサービス

シスコが提供するクラウドサービスに変更は必要ありません。Jabberクライアントは、パブリックインターネットCAによって既に署名されているWebEx MessengerおよびWebEx Meetingsサービスの証明書も検証します。